



平成26年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 トラスト・テック

上場取引所 東

コード番号 2154 URL <http://www.trust-tech.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小川毅彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 鈴木憲一

TEL 03-5777-7727

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日

平成26年3月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト、個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年6月期第2四半期の連結業績(平成25年7月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年6月期第2四半期	8,420	12.7	624	99.3	643	80.0	386	85.0
25年6月期第2四半期	7,472	△4.8	313	19.1	357	31.6	209	54.9

(注) 包括利益 26年6月期第2四半期 385百万円 (86.6%) 25年6月期第2四半期 206百万円 (52.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年6月期第2四半期	40.66	40.54
25年6月期第2四半期	21.98	21.98

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
26年6月期第2四半期	5,454		3,580		65.6	
25年6月期	5,544		3,479		62.8	

(参考) 自己資本 26年6月期第2四半期 3,580百万円 25年6月期 3,479百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年6月期	—	0.00	—	3,000.00	3,000.00
26年6月期	—	20.00	—	—	—
26年6月期(予想)	—	—	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成26年6月期第2四半期末配当金20円00銭の内訳: 普通配当金 10円00銭 記念配当金 10円00銭(東証第二市場変更記念配当)

平成26年6月期期末配当金30円00銭の内訳: 普通配当金 20円00銭 記念配当金 10円00銭(東証第一部銘柄指定記念配当)

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っております。

3. 平成26年6月期の連結業績予想(平成25年7月1日～平成26年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,800	19.3	1,280	78.3	1,300	61.7	780	69.6	81.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年6月期2Q	9,516,000 株	25年6月期	9,516,000 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年6月期2Q	42 株	25年6月期	— 株
----------	------	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年6月期2Q	9,515,971 株	25年6月期2Q	9,514,000 株
----------	-------------	----------	-------------

当社は、平成25年7月1日付で普通株式1株につき普通株式100株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成25年7月1日～平成25年12月31日）におけるわが国経済は、政府の経済及び金融政策の効果による企業業績の改善や個人消費の持ち直しなどにより、緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような環境下、当社グループは特に業績が好調で人材需要の回復がみられる自動車や自動車部品などの輸送用機器関連企業を中心として、新規顧客への積極的な営業と既存顧客に対する取引拡大及び単価交渉により、業容の拡大と利益率の向上に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は8,420百万円（前年同期比12.7%増）、営業利益は624百万円（前年同期比99.3%増）、経常利益は643百万円（前年同期比80.0%増）となりました。四半期純利益は、386百万円（前年同期比85.0%増）となりました。

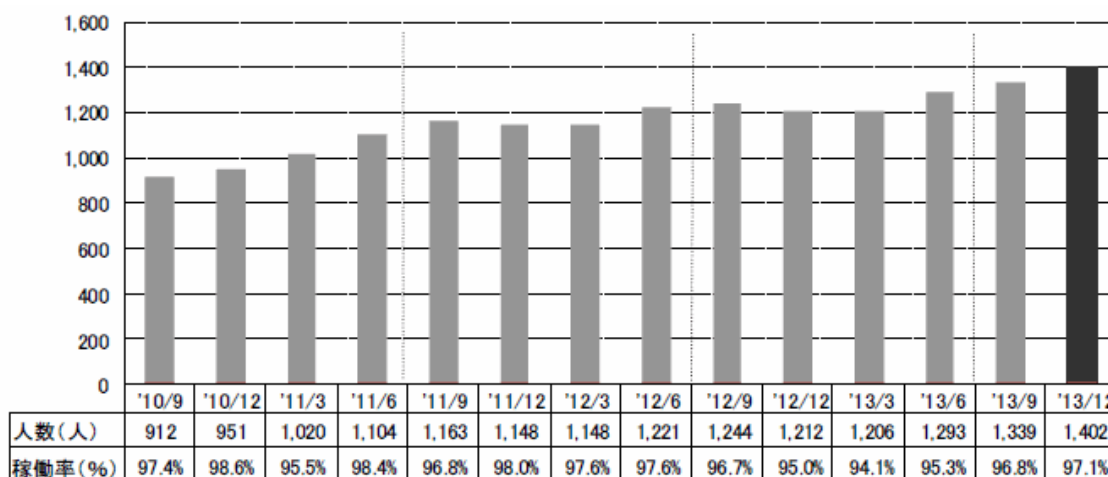
セグメント別の業績の概況は、次のとおりです。

（技術者派遣・請負・委託事業：株式会社トラスト・テック、香港虎斯科技有限公司）

当セグメントは、研究開発、設計、生産技術などの技術分野に対する派遣・請負・委託の事業を領域としております。

当第2四半期連結累計期間においては、輸送用機器関連企業に加え、半導体装置関連企業からの人材需要の回復も寄与し、平成25年12月末日時点の当セグメントに従事する社員数は、第1四半期連結会計期間末から63名増加、前期末からは通算で109名増加の1,402名（前年同期末比190名増）となりました。

この結果、売上高は4,526百万円（前年同期比16.0%増）、セグメント利益は487百万円（前年同期比61.6%増）となりました。



※ 人数:月末技術者数 稼働率:月末日における「就業先がある技術者数」÷「技術者数」

なお、人数には当該セグメント売上計上分に対応したコンサルタント業務委託先の技術者数を含んでおります。

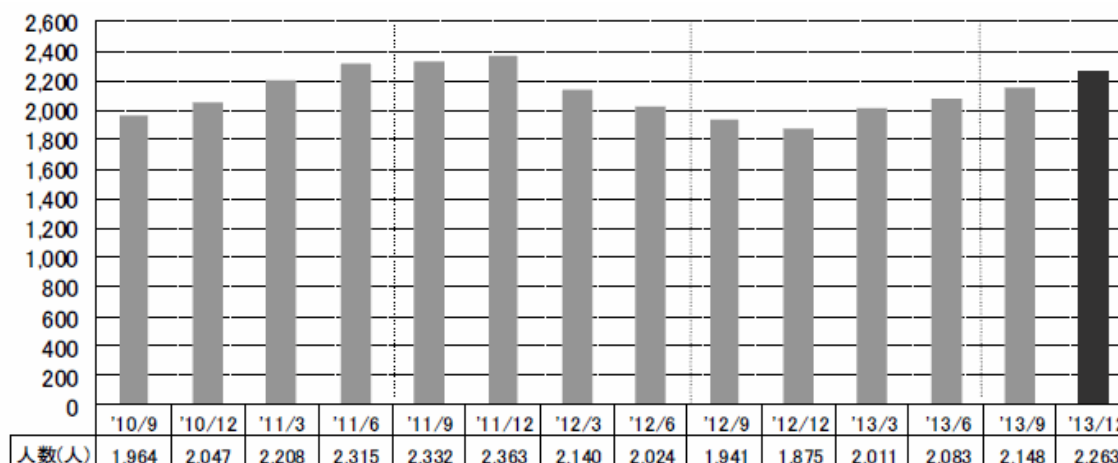
（製造請負・受託・派遣事業：株式会社T T M）

当セグメントは、顧客企業の製造工程等における請負・受託・派遣の事業を領域としております。

当第2四半期連結累計期間においては、第1四半期連結累計期間に引続き輸送用機器関連企業や、住宅関連企業との継続した取引と新規案件の獲得により、平成25年12月末日時点の当セグメントに従事する社員数は、第1四半期連結会計期間末から115名増加、前期末からは通算で180名増加の2,263名（前年同期末比388名増）となりました。

この結果、売上高は3,863百万円（前年同期比9.1%増）、セグメント利益は145百万円（前年同期比224.7%増）となりました。

なお、セグメント利益は、前期に発生した顧客企業の減産に伴う一過性経費の影響が解消されたことに加え請負の業務量の増加に伴う利益率が向上したため、前年同期に比べ大幅な増益となりました。



※ 人数:月末技能労働者数 当セグメントは有期雇用契約が多数を占めるため稼働率は実質100%です。

(障がい者雇用促進事業：共生産業株式会社)

厚生労働大臣の許可を受けた当社グループの特例子会社である共生産業株式会社は、当社が神奈川県相模原市に保有する賃貸用不動産内のテナント事務所の清掃や地元企業からの軽作業などの業務を請負っております。

当該子会社は、障がい者と健常者が役割分担をしながら共に協力して働けるよう職場環境を整備して障がい者の雇用促進に努めております。

当第2四半期連結累計期間における売上高は15百万円（前年同期比0.4%減）、セグメント利益は2百万円（前年同期比40.3%減）となりました。

(不動産賃貸事業：株式会社トラスト・テック)

神奈川県相模原市に保有する賃貸不動産の入居率は、従前どおり高い水準を維持いたしました。

当第2四半期連結累計期間における売上高は27百万円（前年同期比0.4%増）、セグメント利益は8百万円（前年同期比10.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ①資産・負債・純資産

#### (資産)

流動資産の残高は、4,418百万円（前連結会計年度末は4,487百万円）となり、69百万円減少いたしました。主たる変動項目は、現金及び預金（前連結会計年度末比70百万円減）、受取手形及び売掛金（前連結会計年度末比104百万円増）であり、その他（繰延税金資産や未収消費税等）で102百万円減少しております。

固定資産の残高は、1,036百万円（前連結会計年度末は1,056百万円）となり、20百万円減少いたしました。主たる変動項目は、無形固定資産（前連結会計年度比22百万円減）です。

この結果、資産合計は5,454百万円（前連結会計年度末は5,544百万円）となり、89百万円減少いたしました。

#### (負債)

流動負債の残高は、1,833百万円（前連結会計年度末は2,019百万円）となり、186百万円減少いたしました。主たる変動項目は、未払費用（前連結会計年度末比127百万円減）、未払法人税等（前連結会計年度末比187百万円減）、未払消費税等（前連結会計年度末比33百万円増）、賞与引当金（前連結会計年度末比29百万円増）であり、その他（未払金や預り金等）で65百万円増加しております。

固定負債の残高は、41百万円（前連結会計年度末は44百万円）となり、3百万円減少いたしました。

この結果、負債合計は1,874百万円（前連結会計年度末は2,064百万円）となり、189百万円減少いたしました。

#### (純資産)

純資産は3,580百万円（前連結会計年度末は3,479百万円）となり、100百万円増加いたしました。

主たる変動項目は利益剰余金であり、これは四半期純利益（386百万円）による増加及び配当金（285百万円）による減少です。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ70百万円減少し、2,105百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は243百万円（前年同四半期は229百万円の獲得）となりました。収入の主な要因は、税金等調整前四半期純利益641百万円です。支出の主な要因は、未払費用の減少127百万円、売上債権の増加（キャッシュ・フローの減少）103百万円です。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は、25百万円（前年同四半期は11百万円の使用）となりました。支出の主な要因は、有形固定資産の取得による支出14百万円です。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は、289百万円（前年同四半期は270百万円の使用）となりました。主な支出は、配当金の支払額284百万円です。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日発表の「第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり、平成26年6月期の連結業績予想につきましては、売上高17,800百万円（前年同期比19.3%増）、営業利益1,280百万円（前年同期比78.3%増）、経常利益1,300百万円（前年同期比61.7%増）、当期純利益780百万円（前年同期比69.6%増）に修正いたしました。

また、期末配当予想につきましても東京証券取引所市場第一部銘柄指定の記念配当を実施することとし、1株当たり30円00銭（普通配当20円00銭 記念配当10円00銭）に修正しております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,175,813	2,105,238
受取手形及び売掛金	1,931,306	2,035,660
その他	380,268	277,331
流動資産合計	4,487,387	4,418,231
固定資産		
有形固定資産	192,051	192,605
無形固定資産		
その他	130,760	108,478
無形固定資産合計	130,760	108,478
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	590,960	587,611
その他	143,014	147,807
投資その他の資産合計	733,974	735,419
固定資産合計	1,056,786	1,036,503
資産合計	5,544,174	5,454,735
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払費用	1,327,719	1,200,436
未払法人税等	315,035	127,186
未払消費税等	119,450	153,060
賞与引当金	115,207	144,749
その他	142,201	207,581
流動負債合計	2,019,614	1,833,012
固定負債		
退職給付引当金	5,469	5,659
その他	39,299	35,790
固定負債合計	44,768	41,450
負債合計	2,064,383	1,874,463
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,476,890	1,476,890
資本剰余金	634,375	634,375
利益剰余金	1,373,176	1,474,650
自己株式	—	△32
株主資本合計	3,484,442	3,585,883
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,651	△5,611
その他の包括利益累計額合計	△4,651	△5,611
純資産合計	3,479,790	3,580,271
負債純資産合計	5,544,174	5,454,735

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	7,472,437	8,420,065
売上原価	5,831,217	6,356,606
売上総利益	1,641,219	2,063,459
販売費及び一般管理費	1,327,882	1,438,987
営業利益	313,337	624,471
営業外収益		
受取利息	135	180
助成金収入	40,369	14,702
その他	3,730	4,039
営業外収益合計	44,235	18,922
営業外費用		
支払利息	184	155
その他	10	87
営業外費用合計	194	243
経常利益	357,377	643,150
特別損失		
固定資産売却損	120	—
固定資産除却損	58	2,068
特別損失合計	179	2,068
税金等調整前四半期純利益	357,198	641,081
法人税、住民税及び事業税	127,972	174,807
法人税等調整額	20,072	79,320
法人税等合計	148,044	254,127
少数株主損益調整前四半期純利益	209,153	386,954
四半期純利益	209,153	386,954



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	209,153	386,954
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△2,304	△960
その他の包括利益合計	△2,304	△960
四半期包括利益	206,849	385,993
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	206,849	385,993

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年7月1日 至 平成25年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	357,198	641,081
減価償却費	25,895	32,087
のれん償却額	14,011	13,411
賞与引当金の増減額(△は減少)	21,121	29,510
受取利息及び受取配当金	△135	△180
支払利息	184	155
売上債権の増減額(△は増加)	232,465	△103,420
未払費用の増減額(△は減少)	△332,297	△127,283
その他	△13,996	120,335
小計	304,448	605,698
利息及び配当金の受取額	135	180
利息の支払額	△184	△155
法人税等の支払額	△74,964	△362,525
営業活動によるキャッシュ・フロー	229,435	243,196
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△15,168	△14,803
無形固定資産の取得による支出	△135	△4,835
敷金及び保証金の増減額(△は増加)	3,717	△6,788
その他	561	1,180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,025	△25,247
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△5,265	△4,549
配当金の支払額	△265,420	△284,601
その他	—	△32
財務活動によるキャッシュ・フロー	△270,685	△289,184
現金及び現金同等物に係る換算差額	369	659
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△51,906	△70,575
現金及び現金同等物の期首残高	1,747,898	2,175,813
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,695,991	2,105,238

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年7月1日至平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	技術者派遣・請負・委託事業	製造請負・受託・派遣事業	障がい者雇用促進事業	不動産賃貸事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,900,543	3,541,148	4,425	26,319	7,472,437	—	7,472,437
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	10,876	970	11,846	△11,846	—
計	3,900,543	3,541,148	15,301	27,289	7,484,283	△11,846	7,472,437
セグメント利益	301,821	44,665	3,541	7,349	357,377	—	357,377

(注) 1 売上高の調整額は、セグメント間取引であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年7月1日至平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	技術者派遣・請負・委託事業	製造請負・受託・派遣事業	障がい者雇用促進事業	不動産賃貸事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,526,043	3,863,111	4,440	26,470	8,420,065	—	8,420,065
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	10,807	924	11,731	△11,731	—
計	4,526,043	3,863,111	15,247	27,394	8,431,797	△11,731	8,420,065
セグメント利益	487,862	145,027	2,115	8,145	643,150	—	643,150

(注) 1 売上高の調整額は、セグメント間取引であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の経常利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。